

Re-1グランプリ2025を開催!

司会 松原 慎氏(京都府立医科大学附属病院) / 松村 うつき氏(京都府立医科大学附属病院)
コメンテーター 和足 孝之氏(京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター)
 瀧上 雅雄氏(京都第二赤十字病院 循環器内科/Re-1グランプリ2023優勝)

9月28日(日)、第51回京都医学会にて「Re-1グランプリ2025」を開催しました。Re-1グランプリは“京都府が誇るエース指導医が〇〇を学び直してみた(Re-education)”をテーマに、教育のみならず、若手指導医自身が学び直しを行う企画です。今年で3年目となる本企画は、情熱あふれる指導医たちのレクチャー合戦で熱気に包まれました。

オンライン投票による“最もよかったレクチャーを行った最強指導医”にはよき往診クリニックの守上佳樹先生が選ばれ、Re: Education Award 2025が贈られました。7名の人気指導医による密度の濃いレクチャーはKMA.comサイトよりご覧いただけます!

「KMA.com」にはだれでも無料で登録できますので、この機会にぜひご登録ください!



KMA.comの
詳細情報はこちら→



KMA.comとは?

KMA.com会員に登録された方だけがご覧いただける専用ページにはお役立ち情報が満載。今回はその中の動画ライブラリーをご紹介します!



KMA.comの詳細情報はこちら→
<https://www.kyoto.med.or.jp/kmacom/>



編集後記

今回は、山城南医療圏の基幹病院である京都山城南総合医療センターの研修医の先生にお話を伺うことができました。充実した研修の様子をお話いただきました。ご協力いただいたお二人に感謝申し上げます。

表紙は、京都府医師会の恒例企画となっているRe-1グランプリの報告となっております。若手からベテランの先生まで、楽しく学び直す貴重な会となりました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。京都府医師会の活動に引き続きご注目ください。(記載: 森田 輝)

Arzt編集部 森田 輝(京都府立医科大学) 松原 慎(京都府立医科大学) 松村うつき(京都府立医科大学) 福富 康平(京都府立医科大学附属北部医療センター)



一般社団法人 京都府医師会
 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6
 TEL.075-354-6104 FAX.075-354-6074
<https://www.kyoto.med.or.jp/>

京都府医師会では本紙を定期的に発刊しており、次号4月に発刊予定です。掲載内容向上のために、本誌に関するご意見・ご要望をお寄せください! また、研修医・編集委員を募集しています。編集に携わってみたい先生がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。

「Arzt」:ドイツ語で「医者」を意味する言葉から本誌のタイトルを取りました。

研修医・若手医師のための情報誌「Arzt」

Arzt Vol.21



京都医学会



研修医REAL INTERVIEW

困難にぶつかりながら 実感する成長とやりがい



研修医・若手医師のための情報誌「Arzt」

Arzt Vol.21

2026年2月28日発行

発行人 一般社団法人 京都府医師会

制作 アルト編集部

一般社団法人 京都府医師会



困難にぶつかりながら 実感する成長とやりがい

今回お話を伺ったのは、京都山城総合医療センターに勤務する初期研修2年目の堀井先生と1年目の丸山先生。各診療科で経験を積み重ね、困難にぶつかりながらも実感している自身の成長や、医師の仕事のやりがいについて、語っていただきました。

患者さんの心に寄り添う コミュニケーションの大切さを実感

堀井先生 (以下:敬称略): 京都府南部出身の私にとって、当院のある木津川市は地元です。医療を通じて地域に貢献したいという思いがあり、当院での研修を決めました。また学生時代に当院で実習を受けた際、診療科の垣根を超えてどの先生も優しく丁寧に指導してくださり、この病院でならさまざまなことを学びながら成長できると感じたことも当院を選んだ理由の一つでした。

丸山先生 (以下:敬称略): 実は私も木津川市出身で、当院のことは小さい頃から知っていました。入職の決め手は、病院見学に来た時、研修ローテーションのスケジュールを組む際に、研修医の希望も聞いてもらえると思ったことです。興味のある診療科を先行して学べたらいいと考え、当院を選びました。



堀井: 最初、糖尿病内科で初めて患者さんと接した時は、戸惑うことばかりでした。血糖マネジメントの必要な患者さんを診ていた時のことです。適切に食事を摂っているはずなのに血糖値が下がらず、よくよく尋ねてみたところ、食べたものを正確に申告されていなかったことが分かりました。患者さんが常に正しいことを話されるとは限りません。患者さんの心を傷つけることなく、いかに正確な情報を引き出すか、コミュニケーションの大切さと難しさを痛感しました。

丸山: 私も時間がある限り、病棟の患者さんの元に足を運び、話を伺うことを意識しています。症状や身体のことだけでなく、心理状態や気持ち、またふだんの生活や退院後はどうされたいかなど、さまざまな話に耳を傾けることで、患者さんの不安やストレスを軽減し、心を楽にできたらと思っています。担当した患者さんが、病気が良くなるにつれて、徐々に笑顔が増え、明るく話してくださるようになるのが、嬉しいです。

堀井: 一方で、力量不足を実感するのは、救急対応の時です。当直中に救急外来に患者さんが搬送されてきた時は、どうすべきか即座に判断できず、処置に躊躇してしまうこともありました。そうした時、上級医の先生が処置の方針や薬の処方方を迅速に決断し、迷いなく行動される姿を見て、心から尊敬の念を抱きました。

丸山: 私は上級医の先生の手術を見ていた時、「自分の家族でも、自信を持って

京都府南部に位置し、急性期医療機能の充実を図り、地域完結型医療を目指している地域の中核的病院です。

- 当院は、京都府山城南医療圏(木津川市、笠置町、和束町、南山城村、精華町)にあります。公的医療機関で、幅広い疾患の患者を受け入れており、プライマリ・ケアにおいて、かたよりのない多彩な症例が経験でき、各専門分野では、質の高い医療が学べます。
- 救急診療については、年間13,000件程度の救急を受け入れており、各科及び多職種連携のもと、多彩な救急症例が経験できます。
- 令和5年4月から、回復期リハビリテーション病棟を開院。



切開したり、縫合したりできるようにならなければいけない」と言われた言葉が、心に残っています。そうなるにはどうすればいいか、先輩の先生の手術や治療を見る際には、先生が何を考え、どういう意図で手技を行っているか、一瞬も目をそらさず、学び取ろうとしています。

自分で診断・治療方針を立て 実行する力がついてきた

堀井: 2年目になって、成長を実感できることも増えてきました。印象深いのが、外来で「胸が苦しい」と受診された患者さんを診た時のことです。心電図など各種検査では異常はなかったものの、違和感を覚えた私は、最後まで原因を究明しようと決意。入院していただき、カテーテル検査をした結果、冠動脈に血栓が見つかりました。自分で主体的に検査方針を立てて実行し、疾患を発見して無事治療につなげることができ、大きな達成感を味わいました。

丸山: 私はまだローテーションで新しい診療科に移るたびに、一から知識やスキルを学ぶ毎日ですが、少しずつできることが増えていくのが、おもしろいです。救急外来で患者さんを診る際、どのような症状でも慌てることなく柔軟に対応できるようになり、各診療科で学んだことが身になっていると実感しています。



堀井: 1年半余り研修を経て、忙しい中でも質の高い医療を提供するには、知識やスキルだけでなく、集中力を切らさない体力も不可欠だと実感しています。医師を目指す後輩の皆さんには、そのことも知って、大学時代を有意義に過ごしてほしいですね。

丸山: 私もそう思います。学生時代に学びだけでなく、大学とは異なるフィールドで精いっぱい頑張った経験が、医師としての糧になると感じています。

堀井: 薬剤投与やペースメーカーなど機器の装着、心電図やエコーの検査など、幅広い治療に携われるところに魅力を感じ、循環器内科に進むことを決めました。患者さんの訴えや気持ち、生活背景なども汲み取り、患者さんが心から望む治療を提供できる医師になるのが目標です。



丸山: 私は研修で内視鏡検査にやりがいを感じ、今は消化器内科に興味を持っています。どんな時も、患者さんの心に寄り添い、治療できる医師であり続けたい。初心を忘れず、これからもっと力をつけていきたいと思っています。



Profile

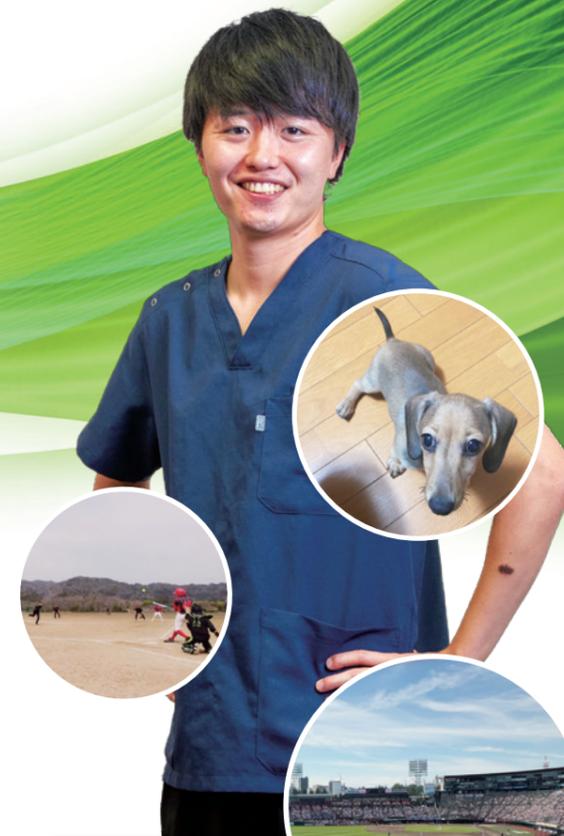
堀井 裕貴 先生
京都山城総合医療センター
初期研修2年目

自分の手で、人の命を救える仕事に魅力を感じ、医師を志した。鉄道で旅をするのが、趣味。休日に電車で旅行に出かけることが、心身のリフレッシュとともに、視野を広げることに繋がっている。

放射線科

一日のスケジュール 堀井 裕貴先生

- 6:30 起床
- 8:00 出勤、カルテ確認
- 9:00 カテーテル治療
- 13:30 昼食・休憩
- 14:30 CT画像等の読影演習
- 17:30 退勤
- 18:30 帰宅
- 19:30 夕食
- 20:30 自習、動画鑑賞、入浴等
- 0:00 就寝



Profile

丸山 裕生 先生
京都山城総合医療センター
初期研修1年目

大学時代から社会人ソフトボールチームに所属。現在も同じチームで、全国大会出場を目指し、練習している。楽しみながらストレスを発散し、かつメンタルを鍛えることにも役立っている。

循環器内科

一日のスケジュール 丸山 裕生先生

- 8:00 起床
- 8:20 出勤、カルテ確認、朝食
- 9:00 回診、病棟業務
- 13:00 昼食
- 14:00 病棟業務、救急外来
- 17:15 退勤
- 18:30 夕食、以降自由時間
- 0:00 就寝